

90 在米留学生菊池武夫・小村寿太郎他五名各校卒業に付留
学生監督目賀田種太郎報告の件回達

〔明治十一年九月二十一日〕

〔朱書〕
〔学第千四百四十八号〕

米国貸費留学生卒業之次第等別紙之通監督目賀田種太郎ヨリ報
告有之候付為御承知及御回付候条本書御閱了之上御返付有之度
候也

明治十一年九月廿一日

文部省学務課長 野村素介

東京大学法理文三学部総理 加藤弘之殿

七十八年六月十八日 (ママ) フロイ工学校

ウイルリヤム エル アタムス

シユニヨル

日本文部省 目賀田種太郎

諸学校報告第廿一号ヨリ第廿三号マテ如例差進候外ニユールク、コロンビア鉱山学校生徒長谷川芳之助南部球吾并ニ松井直吉等卒業ノ節拙者モ親ラ相臨ミ満足相果シ候段承知仕候又ケインブリッジ法学校在学小村壽太郎儀ハ既ニ去年卒業ノ後同校卒業課(卒業ノ後随意ニ学フ科ヲ言フ)相学ヒ居リ候右等学校ヨリ未タ報告差出不申候間即右申進置候法学生ノ儀ハ従是追々法律士等ニ従事候様ノ見積リ又理学科生徒ハ夫々工事実験ノ為メ鉱山并ニ土木等ノ

レンセレル工学校第四年級千八百七十八年夏季試業成績

原口平井氏

科目

セルモフシ シツク及ヒ蒸汽器械

成績 満足

「ストラクチュール」ノ平均并ニステフヒリチー第二部

同

道路土木 理、実、図、

同

石切り 理、実

同

卒業演講(ママ)

同

以上

明治十一年七月廿日 留学生監督 目賀田種太郎
文部卿 西郷従道殿
報告原文相添申方

十三日御状ワロイへ着候処拙者儀学校卒業後直ニ同地を去リ候ニ付博士グリーン氏ノ御望之報告不差進様申付置候卒業式之節御面会ヲ得ハ大ニ喜悅候得共緩々御談話之時ヲ得サリシハ残念ニ存候既ニ貴君御親視ニ相成候上ハ拙者より申スハ無用ニ候得共原口平井両氏大ニ信スベキ度モテ卒業被致且常ニ之レヲ教フルハ(ママ)ニテ有之候ヒキ然シテ来年同校ノ始ムルニ方リテヤ大ニ其好伴ヲ失フト存候且又同校学科ノ貴意ニ適スルハ幸甚ニ候云々

菊池齋藤両氏学科ニ付十三日附御手紙拜承菊地氏事今年ハ卒業科(卒業シテ後随意ニ学フ科ヲ言フ也)御践ニテ其ノ御随意ニ諸科御研究ニ付其ノ出席并ニ進業ニシ格別記録ハ無之候得共御向人学問ハ拙者共ニ於テ満足ニ有之且ツ其注意ノ深カリシヲ証スルヲ得ベシ齋藤氏ノ記録秀デント云フベシ五十二人卒業生ノ内氏ハ第十三位ヲ占メラレタリ、其試験ノ科目如左、然シテ百点ヲ得ラレント多分ナリシト雖モ左ノ点アリ

用達ノ法 七十三点 証券并ニ覚書付 九十五点

約束 八十一點 治刑法 八十點

公平法 九十点 証拠法 七十八点

商會法 八十六点 訴答法 九十点

不動産 五十八点 売買法 八十八点

私曲法 六十四点 遺言法 六十九点八十点ヲ得ルハ
多分トモスベシ

全科平均点七十九点三分ノ一

七十八年六月二十二日 ポストン大学法学校長

イ・モンド エッチ ベ子ット

目賀田種太郎殿

將ニ終ラントスル学期ノ間三浦氏其生徒タルベキ勤柄并ニ行状

ニ於テ拙者共満足スルニ堪タリ

来ル卒業式ニマストル一学位一ニナルベキ演講ヲ命ジタリ御来(ママ)

聴アラハ幸甚云々

七十八年六月二十二日 ニューヘブン

エール大学法学校長

フランシス ウェーランド

目賀田種太郎殿

右三浦氏六月廿六日法学校卒業式演説ノ趣意

日本羅馬家族ノ比較

然シテ「マストルヲブロー」「法律師カ得業士
ヨリ一段ヨシ」ノ称号ヲ得タリ

〔文部省往復「明治十一年分三冊之内乙号、㊦A24」〕